

ふじもとともこ
藤本智子

日本共産党津市議団

発言持ち時間：52分

問 議会に何の説明もなく経済産業省と連携して進めた「水道完全民営化計画」は撤回を

答 経済産業省が津市をモデルケースとして調査研究を行った結果、民営化が望ましいというような報告が行われたもので、本市としては、報告にあるような民営化は想定していない。

●一般質問●

1 議会に何の報告も説明もない水道民営化計画は、撤回を

- (1) 経済産業省と連携して水道公社化など民営化計画を策定しているにもかかわらず、議会に報告、説明がないのは何故か
- (2) 技術職員の増員と育成を
- (3) 「命の水」を守るために、水道事業者との連携強化を

2 職員と業者の適切な関係を保つために、職員個人の携帯電話の使用を禁止し、業務用の携帯電話導入を

3 高齢者福祉計画を充実させるために

- (1) 介護予防のためにも、生き生きサロン等の活動のさらなる支援を
- (2) 社会福祉協議会、支部、地区社協との連携を強化し、地域に根差した活動を

4 セーフティネットである生活保護行政の体制充実を

- (1) ケースワーカーをさらに増員し、一人当たり100世帯を超える実態を国基準80世帯に是正を
- (2) 相談体制の充実のため、相

談員も増員を

5 市独自の住宅リフォーム助成制度の創設を

- (1) 地域経済活性化のために、耐震補強工事が伴わない住宅リフォームであっても助成を

6 臨時職員の待遇改善を

- (1) 実態に見合うよう経験加算、職務加算を
- (2) ワーキングプア解消のために臨時の事務職時給748円の引き上げを
- (3) 夏季休暇、忌引き、病休等の特別休暇の付与を

7 サービス残業の調査について

- (1) 節電対策にかこつけた労基法違反のサービス残業の実態把握を行ったのか

▶ 「命の水」を守る水道局(殿村)

かわぐちかずお
川口和雄

市民クラブ

発言持ち時間：60分

問 津市が筆頭株主であるアストの社長松田前市長の報酬が百万円から三百万円に増額根拠は

答 厳しい景気により企業に営業所等の統廃合の動きがみられる中でも、誘致活動に鋭意取り組み、入居率93%を維持していることから、貢献の対価として支払われていると認識している。

●一般質問●

1 アスト(第三セクター)社長について

- (1) アスト(津駅前都市開発株式会社)開設当初から社長兼務である歴代津市長、近藤及び松田両氏に報酬として年100万円及び退職金(任期2年間分)も支給されている。どのような根拠で報酬が支給されているのか
- (2) アストを除く津市が出資している第三セクターは、全て現職津市長が兼務し社長に就任しているが、松田前市長は市長辞任後、報酬が出ない第三セクターの社長職は全て辞

職したが報酬が支給されている「アスト」だけは辞職せず現在も社長として就任している。本来、筆頭株主である津市の現職市長が社長に就任するのが通常であるが、なぜ一市民である松田氏が今なお社長に君臨しているのか

- (3) 現在、松田前市長は常勤社長として年間300万円の給与が支給されているようであるが、今まで、社長が常勤しなくても会社運営は支障なく行われていた。なぜ常勤にする必要があるのか
- (4) 取締役会は松田前市長の救済機関のように映るが如何か